

保護者の皆様

可部 つちくれの家
平成28年8月1日
施設長 米田香代子

施 設 だ よ り 8 月

7月からの猛暑と断続的な豪雨が幾度となく続いている厳しい気候のなかで8月を迎えましたが、保護者の

皆様方にはお変わりありませんか？

7月から取り組んだ『千羽鶴作り』は、保護者の皆様がたの温かいご協力のもとに、1000羽の折鶴が折り上がり、7月28日の金曜日に、つちくれ代表としてさくらの仲間たちが平和公園に無事献納することができました。

ご協力に感謝いたします。ほんとうにありがとうございました。

今年には献納後平和記念資料館にも足を運び、それぞれに「原爆」・『戦争』への意識や関心を抱いたことでしょう。

いつまでも平和な世の中が続くように、来年も千羽鶴づくりと献納を行っていきたくと思っています。

さて、皆様もご存じのように、戦後最悪の殺人・殺傷事件である神奈川県相模原市障害者入所施設「津久井やまゆり園」での残忍な事件には衝撃的な悲しみと怒りを感じました。

特に、加害者が『元施設職員だった事』と、加害者自身『戦前のヒトラー政権下のナチスドイツが、「障害者にかける予算は無駄だ」として、精神障害者・知的障害者それに治る見込みのない病人たちを、約20万人も虐殺することになった「優生思想」つまり、障害者は生きるに値しない存在、役に立たない者はいなくなればいい。

それが国益に通じるという人間の命や尊厳・人権を否定する考えを持っていた事』に驚かされました。

人と人が豊かに触れ合い、互いに育ち合い、支え合う職場。そんな人間らしい福祉現場を仕事に選んだ加害者の思

いや決意は、どうして？何故？いつから？どのようにして？変化してしまったのでしょうか。

今回の惨劇は大阪池田小学校の無差別殺傷事件を思い出させます。

障害のある人もない人も、全ての人が個人の権利と尊厳を保証される社会。また、互いにその人格と個性、それぞれの多様な生き方を認め合い、学び合い共に生きる社会が求められている時代です。

何故これほど多くの人を加害者はためらうことなく一気に殺害したのでしょうか？その動機や背景の解明を待たずにはられません。

また、私たちの「社会福祉法人清流」での今以上の不審者対策も大きな課題の一つです。改めて仲間の安全と

幸せを考え、気を引き締めなくてはと、痛感させられています。